

# ユニオン

2025年7月15日 発行

2025年 夏号

<第66号>

編集・発行／社会福祉法人ワークスユニオン 代表／池田直樹 〒551-0001 大阪市大正区三軒家西1丁目17-18 TEL06(6556)0881

ワークス集

ワークス翔

## 就労継続支援（B型）事業所

ワークス歩

旅行に行きたい

一泊二日の旅行に行きたいです。

事業所旅行でも行ったことがあるけれど、淡路島や京都嵐山、神戸や東京、長崎や静岡、岡山、香川に行きたいです。旅行しておいしいものをたくさん食べたいです。香川に行ったら「さぬきうどん」を食べたいです。

バス旅行も楽しいけれど、東海道新幹線「のぞみ」に乗って景色を見たいです。

事業所旅行で思い出に残っているのは、静岡県の「三島スカイパーク」で長いつり橋を渡ったことです。とても楽しかったので、もう一度行ってみたいです。

これからも、おいしいものを食べて、楽しいことをたくさんしたいです。

目下 亮介



## はたらくべしといふこと

## 就労継続支援(B型)事業所より

ワークスユニオンの支援者として働き始め、13年を迎え、法人の中では若手から中堅?の位置にいる私ですが、日中支援事業所で働いたのは8年と、ほとんどの年数を日中の事業所で過ごしてきました。その中で、就労継続支援B型事業所

(以下、B型事業所)で私が体験した「はたらく」ことについて考えさせられたエピソードを皆様に紹介したいと思います。

## ●しんどくても働きたい

Aさんは話すことが好きで、事業所で困っている人を見つけては「大丈夫だよー。心配しないでいいよ」などとお世話係のような方です。そんなAさんは過去に一般就労をして働いていましたが、気持ちがいまいちなり辞めた過去が多くあります。それでもAさんは「就労したい。働きたい。」とい

くつかの企業に就職しましたが、なかなか続きませんでした。

企業の中で支援者と働く施設外就労の制度により、一般就労に近い職場を提供できたことは、Aさんの想いを体現出来たのではないかと思います。それでも仕事場への不満やしんどさは残り、仕事に足が向かない事もありました。人間関係に悩み、不満を吐いたり、眉間にしわを寄せて作業をしたりと、働かしんどさはなかなか改善されませんでした。

Aさんにとって「はたらく」ことは何かと問いかけると「就職しないと言われたから」。では、Aさんはどういうところで働きたいですかと聞くと「楽しい所」と答えてくれました。

それから、Aさんは現在施設外就労ではなく、通常のB型事業所で働いていま

す。事業所の仲間たちと冗談を言うなどして好きな会話を楽しみ、しんどさはあるものの笑顔が多く見られ、休まず仲間たちと毎日作業をしています。

明るく人の世話が好きな一方、人の事がどうしても気になってしまうAさんの葛藤と苦労が身に沁み、それらを軽減できるよう努めたいと思いました。

## ●事業所に行きたい

Bさんは明るく、食べる事が好きな方です。長年通っていた事業所の仲間たちと日々作業をしていたのですが、高齢になるにつれ

て、同好会に行けなくなるなど、活動(社会)への参加が少しずつ減っていきました。

そんなある日、精神的な不調で、事業所に単独で通えなくなりました。医師にもかかりましたが不調は回復せず、通勤も心配な状態が続きました。

そんな中、車の送迎サービスがある事業所を提案したことがありましたが、Bさんの保護者さんから「今の事業所に通いたいと本人が言っていますので、通える限り通わせて欲しい」とお願いされました。私は支援者として、本人の好きな歌や身体を動かす事が出来る、送迎なので通勤の心配も無くなるかと考えて提案させてもらったのですが、Bさんが今の事業所に通い続けたいと強く思っていることを知りました。

Bさんは精神的な不調は落ち着いてこれ、少しの心配は残りますが、今でも同じ事業所に通い続けてい

ます。ラジオから流れる歌を口ずさみ、仲間と一緒に笑顔で作業をしています。

不調の中でも「通いたい」と思ってもらえることはとても嬉しく思います。このような事業所体制を継続し、より通いやすいと思っける事業所を目指したいと思いました。

「はたらく」ということは生活の為の手段であったり、社会とのつながりであったり、自己実現をするための役立ち、周りの人たちの役に立ち、助け合うことであつたりと、様々な目的があります。Aさん、Bさんにとって、今の事業所は「はたらく」場所になっているのだと思います。

これからについても、より利用者さん一人一人の環境にあった「居心地のよい場所」を、私自身も法人で働くものとして、「はたらく」ことの楽しさを感じながら、考えていきたいと思ひます。

(川口)



# カレーフェス



令和7年2月28日に生活

介護事業所「匠」(以後「匠」)でカレーフェスを開催しました。

メインにその他の食べ物や音楽を提供してみんなで楽しんでみようということでフェスを行うことにしました。

準備に携わった職員も室内の飾りつけや構想時点であれこれ積極的に考えて、色んな意見や発想が浮かびました。当日は利用者さんが到着すると玄関に用意をしていた自作のターバンをかぶってもらいスタートしています。

日常「匠」で食べている昼食の弁当には、業者の都合でみんなの大好きなカレーライスが出ることがありません。その為「カレーライスを食べたい!」との声が度々ありました。また、昨年度は夏に行事が重なった為、夏祭りイベントが開催できなかったたのでその代用も兼ねました。カレーライスを

用意した食事は、職員の名前をもじって和子の3種類のカレー(キーマ・ホワイ・ト・チキン)、西店長のナン、金さんの水餃子、美代子のフレンチトースト、しまちやんのコーヒードリンクなどという名前を提供しました。今回は、カレーライス作り体験、コーヒードリンクを生豆から淹れて飲む体験・色んな楽器を実際触れる体験コーナーを設けました。「和」利用者さんや家主さん、職員にも参加してもらいとても盛り上がりしました。

午後よりは、送迎車運転を担当していた泉さんの「アゲインバンド」に来てもらい懐かしの音楽を聴き音楽に合わせて踊りだす利用者さんがたくさんいました。利用者さんからは「人参とかジャガイモも美味しかった」「餃子!! フレンチトースト!!」「カレー食べたいからまたやつてほしい」「おかいっばいになった」「カレーのご飯が美味しかった」「楽しかったです 来年もやってほしいです」このような感想が多々ありました。

また、利用者さんが楽しいと思える活動を提供していきたいと思っています。

(島村)

## 平野の町めぐり

6月6日(金)は生活介護事業所「和」の野外活動でした。今年は、平野の町ぐるみ博物館を巡りました。

かったり、入っても、突然鳴り響くドラの音にびっくりして出てきたりと、結局、最後まで話を聞いた人は誰もいませんでした。

他には小さな駄菓子博物館や、刀博物館を巡りました。途中、創業300年の老舗の和菓子店で、おやつを買ったりお土産を買ったりしながら、最終目的地の大念佛寺というお寺まで歩きました。

平野は、中世の時代、自治都市として堺に匹敵するぐらいに栄えていたそうです。古い建物が多く残っている平野では、町ぐるみ博物館といって、小さな博物館が点在しています。

まず、私たちが行ったのは、和菓子店の梅月堂です。ここでは古い木型など和菓子を作るための道具類が展示されていました。その次にたずねたのは、全興寺です。寺内にある地獄堂は地獄を体感できるお堂で、みなさん、少し怖かったようです。お堂の中に怖がって入れな

皆さんにとって、平野の町巡りをしたことは初体験だったので新鮮だったようです。暑い中、よく歩いて疲れていたにも関わらず、最後はみなさん、良い表情をされていました。(中濱)



## グループホームの休日☆

休日の過ごし方として、グループホーム(以下GH)を利用されている方向けにGHレクを月に一回行っています。内容は近隣の施設を見学したり、バーベキューやボウリングをしたり、といったものです。

始まりは休みの日にどこかに行きたいけれど、ひとりでは行けず、グループホームで時間を持て余して過ごしている利用者さんに、職員が案を出して外出する機会を増やそうとしたことからです。すでに何年か経っていて、最近は同じよう

な場所に行くことも多いですが、職員との外出を皆さん楽しみにしています。

先日、お花見に行ってきました。桜が綺麗に咲いていて春のおだやかな気候の中、公園を歩きながら、「あの花は何?」と桜以外の花に目を向けると、「あれはパンジー」「パンジーに似ているけど違う花なんやて」と会話しながらのんびりとした時間を過ごしました。

平日は作業所や就労先で仕事を頑張っています。休日にどこかに外出をしてリフレッシュする。それはとても意義があることだと思います。

GHレクでは外出をメインにしていますが、過去には、夏祭りと呼んで即席の屋台を出して楽しんだことがあります。最近はそのような普段と違った遊びも少なくなっているように思うので、少しずつ工夫していきながら楽しめる企画を考えていきたいと思っています。

(野崎)

## 職員紹介

池田 竜司(をー匠)

福祉の仕事に興味はあったものの、自分に向いているのかどうかもわからないまま、飛び込んでみました。入社して三か月経ちますが、想像以上に難しく、奥の深い仕事だと感じています。利用者さん一人一人の個性を理解しつつ、対応をしたいと思っていますが、言葉通りのようには上手くいきません。周りにいる諸先輩方の行動を観察し、何故、今、その声掛けなのか等の理由を教えて貰いながら、

少しずつ理解出来ればと思っています。

趣味は「御朱印集め」です。一番遠い所は、千葉の成田山新勝寺。お気に入りには「選べない!」と教えてくれました。

中道 省太(をーメン)

転職を考えた時、二十数年前に福祉専門学校に通っていたので、その経験を活かしたいと考えました。とは言え、今と昔では福祉の考え方は変化していると思います。再度学校に通い、その学校からの実習先がワークスユニオンでした。とても働きやすい職場だと思ったので応募しました。

支援をする上でわからない事も多いですが、利用者さんに「今日も一日よかった」と思ってもらえる事を目標に頑張っています。

休日や帰宅後は、映画やドラマを観て過ごす事が多く、特に深夜枠のアニメが好きで、分野問わずいろいろ見えています。

(助野)

## 編集後記

▼ワークスユニオンのダンスチーム「UNION★STARS」は、9月14日に大阪・関西万博でダンス発表することになった。▼出演予定の利用者さんは万博で踊れることを喜んでいて、いつも以上に練習を頑張っている。▼「UNION★STARS」は、講師の瀬口先生がワークスユニオンの利用者さんと出会い、「障害がある人も可能性を秘めているはず。最初からできないと諦めずにどこまで踊れるか一緒にチャレンジしたい。」という考えから始まり、結成から12年が経った。

▼瀬口先生と利用者さんと職員で毎年難しい振付に挑戦しながら、頑張ってきた成果を万博で発表できることは、とても感慨深い。▼当日は、メンバー全員で楽しんで踊れるよう頑張っている。▼練習をしていますので、皆さん応援よろしく願っています。

(Y)